富士山南東消防組合が発足

問題をはらんだ広域消防富士山南東消防組合が４月１日に発足した。

富士山南東消防本部のロゴが入った消防車や救急車が目についている。

正式発足に先立ち２月市議会の開催冒頭、消防組合議会の議員が議長指名により選出された。

選出された議員は上屋俊博、松田吉嗣、石渡光一、堀江和雄、下山一美の５名の各氏である。裾野市の３名、長泉町の２名の議員と合わせて10名で消防組合議会が構成されている。

第１回の議会は去る３月29日三島市議会で開かれ、40近い条例や人事案が審議され、可決された。

消防本部人事では消防長に前裾野警察署長の斉藤忍氏が、副消防長に前三島消防長の古地正実氏が任命された。斉藤氏は３月31日まで現職の警察署長で、このような警察官僚の横滑り人事は極めて異例な人事といえる。他にも近隣市町との相互の応援がぎくしゃくしていると聞いている。

富士山南東消防本部

広域化によって、管轄区域の重心が北に上がったため、三島市の中郷地区の消防力、救急力の低下が心配である。

また、広域化前の昨年10月に分遣所が廃止になった北上地区の消防力、救急力のカバーがどう保証されるかを注目したい。〈Ｏ〉

感想文　白旗の少女

三島市立北小４年　久保ひなた

「これは本当にあった話だよ」と、涙ぐんだ私に向かって母が言った。

これまで、戦争とは遠い国の昔のことだと思い、全くと言っていいほど気にしたことはなかった。二年前に沖縄に行ったが、あんなに美しい場所で、とても悲しい事が起きていたなんて信じられなかった。けれど、この本の作者でもある主人公の富子さんが、白旗を持っている写真を見た時、頭の中に状況が浮かび、日本でも戦争があったのだと怖くなった。怖い気持ちもあったが、戦争のことが知りたくなり夢中で読み進めた。

富子さんは当時７才。沖縄でアメリカと日本のはげしい戦いが行われている中、家族と離れ離れになってしまい、兄を戦争で亡くしてしまう。悲しいはずなのに姉をさがすため、一人で必死に生きる姿に、今の私よりも小さいのに強いなと感じた。私ならきっと怖さと悲しさで泣いてばかりいただろう。生きることを諦めてしまうかもしれないと思った。富子さんに一番の生きる力を与えてくれたのはガマ（自然にできた穴）の中で暮らしていた手、足、目の不自由なおじいさん、おばあさんとの出会いだ。戦争という恐怖の中でも心安らぐひと時を与えてくれたこの場面が強く印象に残っている。二人は富子さんに生き残るすべを教えてくれた。それが白旗だ。私は白旗という意味があること、安全のしるしなのだということを初めて知った。おじいさんのフンドシをおばあさんが噛みちぎって作った白旗は、富子さんに「生きぬけ」という強い気持ちの入っている白旗だ。この優しさに胸が熱くなり、涙ぐんでしまった。私は助け合いの大切さ、生きることを諦めない強さを学んだ。今年は戦後七十年。主人公の富子さんは七十七才になる。日本では今、日本の安全保障について話し合いがされている。戦争中のアメリカの支えとなり、日本も参加するというものだ。この先、日本が戦争に参加する日がくるのだろうか。不安に感じる。私たち子どもにもわかるように教えてほしい。私の住む三島でもこの法案に反対する人たちが「戦争反対」というメッセージを手にして反対運動をしていた。戦争を体験した年上の方が多く参加していた。私も反対だ。この平和がずっと続くよう、私たちの役目は日本で起きた悲劇を忘れないように伝えていくことだと思っている。富子さんはどのような想いで、今の日本をみつめているのだろうか。

注　紙面の都合上、ひらがな表記を漢字にしました）

投稿

改憲の足音が近づいている

「まさかそんなことが」と思っているうちに、今の与党は、教育では教育内容や教育委員会へ、マスコミ関係ではＮＨＫの会長人事へ、そして停波をちらつかせての放送内容へ、など圧力をかけている。言論の自由、民主主義を脅かしている。

また、慰霊の訪問行事を続けている天皇陛下の現行憲法に関係するお言葉の一部を削除して報道するなど、マスコミは政治関係からまるで腰が引けている。

特に最近のニュースは、殺人・誘拐・ＩＳ・北朝鮮そして米大統領選挙関係とスポーツが中心で、日本の政治関係のものはあたり障さわりのないものが多い。

マスコミが見ざる・言わざる・聞かざるの三猿となり、日本国が麻生元総理の言葉かける安保法」

通りに「ナチスのように知らないうちに」なる恐れを感じる。気がついた時にはすでに遅しとしてはいけない。

国民を大切にしない政治に対し、私たちは「安保法制」に反対の声を上げることは勿論大切だが、意思表示をする、例えば黄色のリボンとか布をどこかにつけるような運動を広げることも連帯感を高める上で大切ではないかと思う。

川柳　『少子化に拍車を

〈野中良久〉

本棚便り（７）

間宮　緑

『予告された殺人の記録』
Ｇ・ガルシア＝マルケス著
野谷文昭訳　新潮文庫

過去に港町で起きた殺人事件の真相を探るため、「わたし」は町の人々の記録と記憶を辿ってゆく。謎ただ一つ、「わたし」の友人であるナサールが「なぜ」殺されてしまったかだ。物語は町の人々の視点を借りて語られてゆく。事件の発端は、兄弟に狙われていることを知っていた。だが町にあふれ行く町の美女アンヘラと資産家との結婚、そして直後に訪れる破綻である。花嫁衣装のまま実家に戻られ家に閉じこもるアンヘラは、婚前に純潔を奪ったのはナサールだと明かし、彼女の兄にあたる双子の兄弟は名誉を汚されたとして彼を殺すことを決意する。

町の人々はナサールが双子の兄弟に狙われていることを知っていた。だが町にあふれ行く場のない苛立ちが、殺人の予兆を見て見ぬふりをするという消極的な態度として表れる。アンヘラの相手ナサールではかったらしいのだ。また、金持ちのアラブ人一家の若い客兵であるナサールに町の人々が複雑な感情を抱いていたことも徐々にわかってくる。探偵小説は物語が進むにつれて事実が明らかになってゆくものだが、ナサールはむしろだんだんと謎めいた存在になってゆく。やがてアンヘラの相手がナサールではなかったらしいことまで次第に明らかにされる。ではなぜ彼は殺されなければならなかったのか？

犯罪が起きたとき、私たちは犯人がいかに私たちと異質であるかを探ろうとする。だが事件を引き起こしたのは果たして「犯人」なのだろうか？本書を読み終えた後、事件を見つめると同時に、町の人々を見つめている。

薬効のある身近な植物

☆スギナの効用☆

スギナは道ばたや土手、畑などあらゆる場所に見られます。生命力は凄まじく、広島原爆投下後の荒廃した大地に一番最初に生えてきた植物で、別名地獄草だとのこと。スギナの根は地の底まで延びて閻魔大王の囲炉裏の自在鉤になっているといわれています。

【高い栄養価】
豊富なミネラルやビタミンを含んでいます。カルシュウムはほうれん草の15.5倍、リン・カリウムは5倍

【癌に効果的？】
血中の酸素を補給する働きを阻害する物質があるとされています。

【その他の効用】
むくみ解消、腎臓の働きを高める。自律神経の乱れを整える。

【スギナ茶の作り方】
農薬や除草薬がかかっていないスギナをきれいに洗う。
フライパンに半紙を敷き（無くても良い）焦げないように煎ってできあがり。

《注意》スギナはビタミンB1を破壊するチアミナーゼを含んでおり、大量・長期間の使用は欠乏症を引き起こす可能性があります。
子供や妊娠中・授乳中、心臓・腎臓の機能不全の方、ニコチン過敏症の使用は禁忌。
＊何でも取り過ぎは良くないですね。
特にサプリメントでとるときには気をつけてください！

ミルサーなどで粉にして、ふりかけにしたり抹茶のようにお菓子やパンにも。
塩と合わせた「スギナ塩」も天ぷらや焼き魚に。

【スギナ茶】
急須に大さじ1から2杯のスギナ茶を入れ、熱湯を注ぐ。
または、やかんに水1リットルと大さじ1～2杯のスギナ茶を入れ、沸騰させてから5分弱火に。

【外用にも】
茶葉をホワイトリカーに漬け込んで1～2ヶ月冷暗所にて保管。ニキビ等に効果があり、美肌にも。
入浴剤としてスギナ茶を入れても、美肌に効果。〈Ｊ〉

ひろばおすすめshop

光玉母食堂めし　しんちゃん

三島には公式試合のできる相撲土俵（錦田中）があって幕内で活躍する力士を輩出したり、ちびっ子力士が稽古に励んだりしているそうです。

この三島市相撲連盟の杉山信二会長が錦田の竹倉にある光玉母食堂めし　しんちゃんのちゃんこ鍋を食べてみたいです。〈ＭＩ〉

食事どきは、おなさんいっぱいで、厨房の中は若い料理人たちで活気があります。私は野菜ラーメンが大のお気に入り。丼の中にいっぱい入った野菜は火が通っているのにシャキシャキ、汁は油っぽくなくていい味。麺は細麺で食べ易い。

メニューは定食いろいろ、ラーメンもいろいろ、丼物もいろいろ。丼＋半ラーメン（ラーメン＋半丼も）もいろいろ。

一番人気の焼肉定食を食べている若者が大盛りめしで野菜いっぱい乗ったお肉の皿を平らげている姿についつい見とれてしまいました。

いつか、元力士、しんちゃんのちゃんこ鍋を食べてみたいです。〈ＭＩ〉

生活の知恵

筍の保存方法はいろいろありますが、茹でた筍を使う大きさに切り、砂糖をまぶして冷凍するのもおすすめです。
そのまま煮物にも使えます。ぜひお試しを。〈Ｊ〉

生活を見直そう

お金の使い方には「消費・浪費・投資」の３種類がある。

価値に見合ったモノかどうかを考えて使う「消費」や必要でない物を買う「浪費」ではなく、未来のための支援したいところにお金を使う「投資」の考えでお金を使おう。払うお金が未来への投資と考えれば、少し値段が高くても顔が見える地元の小売店で買う選択ができる。ひとりひとりのお金の使い方できっと世の中が変わる。〈Ｊ〉

ひろば新聞からのお願い

ひろば新聞はみなさまの定期購読料と広告代で発行しています。
定期購読のご登録をお願いします。
ご意見や取り上げてほしいテーマ等お気軽にお寄せください。

三島児童文学を語る会　入会のお誘い

月例会　歌で開会/テキストの輪読/話し合い/講師の資料を読む
場　所　市民活動センター（本町タワー）４階
時　間　13:30~16:30
年会費　1000円
講　師　小嶋利信（元小学校教師）

＊９月までの予定＊
４月23日(土)　だるま船・小出正吾
５月21日(土)　泥の河・宮本　輝
６月25日(土)　現代の童話・松谷みよ子
７月23日(土)　ミサコの被爆ピアノ・松谷みよ子
９月24日(土)　らでんの小箱　・今村靖子
　　ショウイチじいさん・松本清治

見学自由　お気軽にどうぞ！

連絡先　山口当子(055-971-3348)

富士山植樹に参加しませんか

４月29日(金・祭日)
[予備日５月５日(木・こどもの日)]

三島市役所駐車場　７：４５
三島市役所出発　８：００
浅木塚林道入口　９時到着
（歩いて浅木塚まで約１時間）
植樹作業終了予定　１５時頃
解散場所　三島市役所

三島市役所からバスがでます（先着４０人）

植樹地：浅木塚国有林（緑野市大平須山2308-1 約5ha）
植樹苗：落葉広葉樹（ブナ、ミズナラ、ヒメシャラ等 約100本）
参加予定人数：約300人
持参するもの：飲料水・弁当・雨具・軍手
（作業用のスコップ、クワ等は用意してあります）
☆作業のできる服装や靴でご参加ください☆

主　催：柿田川・東富士の地下水を守る連絡会
連絡先：三島自然を守る会　事務局　堀：090-5009-3640

静岡平和資料センター

今もなお世界各地で戦争や紛争が絶えません。戦争や飢餓、貧困、差別をなくし平和な世界をつくるために、常設展示とともにさまざまな企画展示も開催しています。

企画展示
「戦争と静岡」静岡の人びとも戦争を担った
第２部　2016年４月２日～５月29日
「銃後を支えた婦人・学生・子どもたち」

＊開館日　毎週 金・土・日　10:00～16:30（団体見学は要予約）
＊入館　無料
静岡市葵区伝馬町 10-25 中央ビル 90 2F
054-271-9004

http://homepage2.nifty.com/shizuoka-heiwa/

ミシマサイコの会 イベント情報

みしま花のまちフェアへ出店します！

５月28日(土)29日(日)
10:00～15:00 楽寿園にて

体験コーナー（有料）
・ミシマサイコの押花　しおり作り
・ミシマサイコの押花入り　和紙はがき作り

ミシマサイコの種を配布します！
ぜひお誘いください
連絡先：090-3432-5718(小野)